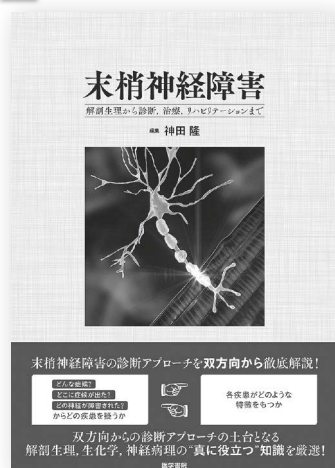




今月の特集関連本



末梢神経障害

解剖生理から診断、治療、リハビリテーションまで

神田 隆＝編集

定価 13,200 円／B5 判・520 頁／医学書院／2022

末梢神経障害の診断アプローチを徹底解説し、臨床に必須の情報を網羅した、明日の診療がレベルアップする 1 冊。コモンからレアまで重要な末梢神経疾患の特徴を幅広く解説するに加え、症候の種類・出現場所、「どの神経に障害があるか」などの所見から何を疑うべきかを解説し、双方向から疾患に迫る。解剖生理・生化学・神経病理の“真に役立つ”知識から、最新の治療やリハビリテーションまで充実の内容。



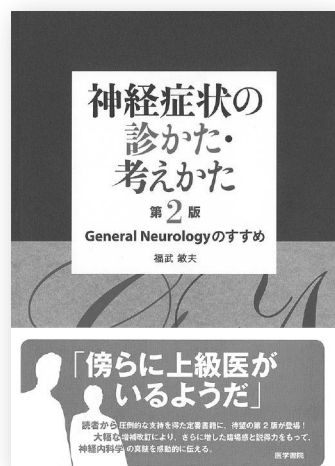
《ジェネラリスト BOOKS》

“問診力”で見逃さない神経症状

黒川勝己、園生雅弘＝著

定価 3,520 円／A5 判・150 頁／医学書院／2019

神経疾患の詳しい知識がなくても、神経学的診察が苦手でも、“問診だけ”で鑑別疾患はここまで絞り込める！『週刊医学界新聞』の好評連載の書籍化。「頭痛」「めまい」「しびれ」「意識消失」などよく診る神経症状について、Common(一般的)な疾患を見分け、Critical(重篤)な疾患を見逃さない“問診力”が身につく 1 冊。



神経症状の診かた・考えかた 第2版

General Neurology のすすめ

福武敏夫＝著

定価 5,720 円／B5 判・424 頁／医学書院／2017

ガイドラインに基づいた“無難な”標準的診療方法を記載した書籍は多いが、それで診療ができるかと言えば実際には難しい。そんな時代に登場した本書は、この領域には珍しい「通読できる本格的な神経内科書」として、神経内科学の“最初の 1 冊”としての地位を固めた。神経内科臨床のリーダーとして知られる著者の経験に基づく箇切れのよい記載と、一貫した神経症状へのアプローチは、「傍らに上級医がいる」かのような。